

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成5年度	根拠法令・例規等	水質汚濁防止法・浄化槽法	
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		
	中項目	基本計画	08	快適な生活が送れるまち		
	小項目	施策	33	生活排水の適正処理		
事務事業名		06	農業集落排水施設管理運営事業		4.5 時間	
		問	担当課(室)	下水道課		
		合	職・氏名	参事 初治 慎一		
		先	電話	0869-63-2330		
		このシート作成に要した時間				4.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	備前市新庄地区及び吉永町大股地区の排水施設使用者及び不特定多数	
目的(何のために)	農業集落の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全の資する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	排水施設の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つ。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	農業集落地区の汚水処理を目的に設置した2箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理		◎
		汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理		○
		汚水送水を目的に埋設している管渠の維持管理		○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	35,393	35,157	35,312
	必要人員	人	0.04人	0.06人	0.05人
	事業費計	千円	35,796	35,763	35,828
	国県支出金				
	受益者負担				
繰入金					
市債					
その他()					
一般財源					
受益者負担比率	%				
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結果指標量	説明	汚水を浄化し公共用水域へ放流した水量			
対前年比	m	49,640	49,572	49,561	
活動コスト	%	-	99.9%	100.0%	
単位当たりコスト	円	35,796,823	35,762,275	35,828,485	
		721	721	723	

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値(A)		20.0	20.0	20.0	20.0
	実績値(B)		8.3	8.7	14.1	到達目標値
	達成率(A/B)		241.0%	229.9%	141.8%	20mg/l以下
成果指標設定の考え方・式や説明						
BODは、浄化槽が適正な維持管理により所期の処理機能が確保されているか否かを判定する指標である。生物化学的酸素要求量：水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量。大きい値ほど汚れが甚だしいことを示す。目標値(A)÷実績値(B)は100%以上とならなければならない。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高 低い B
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高 低い C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高 低い C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		状況		○					
説明		処理コスト(電気料金、薬剤費用、汚泥処理費)を抑えるよう努力し、処理機能を十分発揮できるよう維持管理を行っている。							

総合評価		総合評価
処理は概ね良好に行われており、引き続き処理機能を十分発揮できるよう維持管理を行う。		A B C D E 高や普や低い や通やいい 高 低い C

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		方向性		○					
取組目標		適正な維持管理に努め、計画的な保守点検や機械整備についての計画を策定し、効率的に実施していく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら

事業の目的やその数値目標に留意しながら